

「学術情報発信に関する懇談会」議事概要

日時：平成15年7月23日(水) 14:30～16:00

場所：附属図書館会議室

出席者：草刈図書館長，土屋教授(文)，竹内助教授(文)，
宗宮教授(総合メディア基盤センター)，森下教授(共同研究推進センター)，
池上助教授(環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター)，
長岡研究協力課長，岩間国際交流課長
(図書館)五十嵐事務部長，京藤情報管理課長，尾城情報サービス課長，
加藤雑誌・電子情報係長，阿蘇品雑誌・電子情報係員

資料

1. 出席者名簿
2. 学術情報の発信について(パワーポイント)
3. InfoPort No.5(学術情報発信アンケート報告結果) [2003.1]
(机上配布)
研究者情報データベース検索システム概要(森下教授)

概要

1. 趣旨説明
尾城課長から，資料2に従い説明があった。
2. 学術情報リポジトリシステムの紹介
尾城課長が標記システムのデモを行った。(http://mitizane.ll.chiba-u.jp/)
3. 各部局での取り組み状況
参加者から，各部局における学術情報発信への取り組みの紹介があった。
 - 1) 研究者情報DB検索システム
森下教授から，机上配布資料に従い説明があった。
 - 2) 研究者情報DBの英文提供
国際交流課長から口頭で説明があった。
 - 3) 萩山さく葉コレクションDB(池上助教授)
 - ・英語版あり。
 - ・さく葉DBの維持は学生のボランティアに頼っている。今後の維持体制に不安。
 - 4) 工学部の要覧
草刈図書館長から口頭で紹介があった。
4. 意見交換
意見交換を行い，以下のような検討課題が提示された。

【課題】

[リポジトリについて]

- ・リポジトリ運用ガイドラインの策定。
- ・登録した一次情報の将来的な保存と利用の保証。
 - ⇒ 特殊なファイル形式を登録対象外とするか。
- ・リポジトリシステムと研究者 DB の連携方式。
 - ⇒ 同じ一つの入れ物にするより、双方向リンクで運用する方がよいと思われる。
- ・最新成果のリポジトリ登録を可能とするための、非排他的利用許諾。
- ・出版者の著作権譲渡ポリシーに関する図書館からの情報提供。
- ・教官へのメタデータ入力負担。
 - ⇒ メタデータ入力が難しいとリポジトリ登録が進まないという経験則。
 - ⇒ 簡易な入力インターフェイスが求められる。

[その他]

- ・各学部でかかえる DB の学内統一的維持。
 - ⇒ 放置すると教官異動等で埋もれてしまう可能性有。
- ・学内での研究者情報調査の一元化・迅速化。
 - ⇒ 従来は、NII，学内研究者情報 DB，その他で別個に調査。
 - ⇒ 新任者への調査が遅れる。